

一般質問

超高齢化社会における
高齢者の健康と生きが
いづくりについて



高木 雄大 議員

質問…今後の取り組みと課題について伺います。

答弁…今後も高齢者ほほえみセンターが地域の拠点施設であると考えていますが、生活支援体制整備事業における協議体の検討の中で、「ほほえみセンターがカバーする地域が広すぎて通えない高齢者がいる」、「ほほえみセンターの利用者が固定されてしまい、新規利用がしにくい」

といった意見も聞かれるようになってきました。また、利用者が多いほほえみセンターでは利用者が施設に入りきれない状況も見られ、今後の課題となっております。そこで、現在のほほえみセンターで補い切れない部分を補完する取り組みとして、自治公民館や空き家、空き店舗等を活用したほほえみセンターよりも小規模な高齢者の居場所づ

くり、高齢者サロンといった活動に対する新たな支援を検討しており、平成31年度からの実施を予定しています。さらに高齢者の生きがいづくりとして取り組んできました老人クラブ活動等につきましても引き続き推進を図りながら、地域における切れ目のない高齢者の健康と生きがいづくりに取り組んでいきたいと考えています。



中川 雅之 議員

小型無人機「ドローン」を活用したまちづくりについて

質問…農林業分野における活用について伺います。

答弁…本市の病虫害防除協議会では、本年度からドローン1基を導入し水稲の病虫害防除・農作物の生育状況や病虫害の兆候の早期発見などに活用されており、また山間部や中山間地では、耕作放棄地の状況や違反転用の確認など、農地の利用状況調査や害獣対策の活用にも有効と考

えられます。林業ではパイロットトロープ設置や森林資源調査に活用されており、将来的にはさらに用途が広がると思われますので、農林業に合せたドローンの活用を図ってまいります。

質問…教育・ICT教育推進における活用について伺います。

答弁…新学習指導要領では、プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付ける事が求

められており、本市の小中学校では、タブレットを使った学習やロボットを動かす計測や制御を学ぶ授業を取り入れ、児童生徒の発達段階に応じたプログラミング教育を推進しております。

将来的にはドローンを活用したプログラミング教育の必要性が高まる可能性は否めませんので、検討し今後取り入れられるよう頑張っていきたいと思えます。